

2025 年 CDP 気候変動スコアで初めて「A」を取得

山陽特殊製鋼株式会社(代表取締役社長 福田 和久、本社 兵庫県姫路市)は、CDP による 2025 年気候変動質問書への回答を行い、このほど、リーダーシップレベル最上位に位置付けられる「A」のスコアを取得しました。

CDP とは、グローバルな環境情報開示システムを運営する英国の非営利団体(NGO)で、機関投資家と連携して企業に対し気候変動への取り組みや GHG(温室効果ガス)排出量等に関する情報開示を求めています。2025 年は、世界で 22,100 の企業を調査し、リスクマネジメント、事業戦略、目標と実績、エンゲージメント等の多岐の項目にわたる対象企業の気候変動等への対応について、リーダーシップレベル (A、A⁻)、マネジメントレベル (B、B⁻)、認識レベル (C、C⁻)、情報開示レベル (D、D⁻) の 8 段階のスコアで評価しています。

当社は、2022 年から CDP 気候変動質問書へ、2023 年から水セキュリティ質問書への回答を行っておりますが、気候変動スコアで、今回初めて「A」、水セキュリティスコアで 2 年連続となる「A⁻」(A マイナス)と評価されました。

リーダーシップレベルに位置付けられる「A」および「A⁻」のスコアは、環境パフォーマンスと情報開示の透明性の観点から、先導的と評価される企業に付与されます。

来年 1 月上旬に CDP のウェブサイトにおいて、「A」を取得した企業名が公開される予定となっております。



当社は、気候変動をはじめとする地球環境の問題が人類の存続に影響を与える重要な課題であるとの認識のもと、2050 年カーボンニュートラル実現に向けて 2030 年度に自社で排出する GHG のうちスコープ 1 およびスコープ 2 を 2021 年度比 42%以上、スコープ 3 を同 25%以上削減するロードマップを策定し、エコプロセス推進やグリーンエネルギー活用等による GHG 排出量削減に取り組むとともに、需要家の GHG 排出量削減に貢献するエコプロダクトや、海外グループ会社に省エネ・生産性向上技術を展開するエコソリューションによる GHG 排出量削減への貢献を積極的に推進しています。当社は、各種取り組みと情報開示の充実をさらに加速させ、持続可能な社会の実現を目指してまいります。(具体的な取り組みは、山陽特殊製鋼レポート 2025 (統合報告書) <https://www.sanyo-steel.co.jp/social/csr2025.php> をご覧ください)

以上